

## 【学生・茶室プロジェクト】茶室完成・披露！

きょうとまるごとお茶の博覧会学生プロジェクトの京都府立大学3回生の寺澤です。  
10月11日～13日の3日間、北野天満宮にて茶室プロジェクトのお披露目が行われました。プロジェクトの初めから関わらせていただき、伴走しながら取材を行って来た、楽しみにして当日を迎えました。

この3日間は、急須の普及のために実施したイベント「急須の日プロジェクト」を通して、学んだ、お茶の淹れ方も今回のお茶室を使って広めていくこととしていました。私たち京都府立大学の学生も、頑張って京都市立芸術大学の学生さんが制作した茶室で急須をPRしてきましたので、今回はその様子をレポートします！

今回のお茶室は、京都市立芸術大学の学生達が案を出し合い、先生方を交えて、建築する茶室の候補を絞って行きました。

たくさんの茶室が提案され、どれも創造的で素晴らしい作品でした。



その中から、2つの茶室が制作されました。

ついに出来上がったお茶室。そして茶室名が新たに発表されました。

凸庵（でこあん）と凹庵（ぼこあん）です。学生らしい名前で作られた斬新な茶室名です。

スタイリッシュでシャープな茶室。それでいて、居心地がよく、周りの景色とも溶け合っていて落ち着いた空間が出来上がりました。





この3日間は大盛況で、沢山の方々に来ていただきました。  
凸庵では、煎茶でおもてなしを行い、凹庵では抹茶でおもてなしを行いました。  
また、それぞれのお茶室のデザイナー兼制作者のお二人がどのような想いでデザインしたのかなど、お茶室に来られた方と会話を楽しみながらお茶をいただくことができる空間として過ごしていただきました。



特に凹庵の内部は、写真のように、円のテーブルをみんなで囲みお茶を点ていただく空間となっていました。天井にある大きな穴からの集光が銀色のテーブルに反射して内部の空間を明るくするなど様々な工夫がなされていました。



京都市立芸術大学のみなさん、関係者のみなさん、お疲れさまでした。  
また、お茶室に来ていただきました皆さん、本当にありがとうございました。

<お茶室制作者>

【凸庵】京都市立芸術大学：三村 千咲（みむら ちさ）さん

【凹庵】京都市立芸術大学：吉田 泰星（よしだ たいせい）さん